

■韓国：原子力安全委員会、新古里 4 号機の運転を許可

韓国の原子力安全委員会（NSSC）は 2019 年 2 月 1 日、韓国水力原子力発電（KHNP）に対し、新古里 4 号機（炉型：APR1400、電気出力：140 万 kW）の運転許可を発給した。同号機は 2009 年 8 月に着工し、当初 2014 年 9 月の運開予定であったが、2013 年 5 月には制御ケーブルの品質保証書で偽造が明らかとなり検証試験および取換工事を実施したことや、2016 年 9 月の慶州地震、2017 年 11 月の浦項地震を受け追加での耐震評価を実施したことにより、運開時期が遅延していた。今後、同号機では燃料装荷および使用前検査が行われた後に運開となる。韓国設計の原子炉 APR1400 は、韓国内では 1 基（新古里 3 号）が運転中、5 基（新古里 4～6 号および新蔚珍 1、2 号）が建設中、国外ではアラブ首長国連邦（UAE）で 4 基（バラカ 1～4 号機）が建設中である。